

---

# 上条当麻in涼宮ハルヒの憂鬱

白銀の勇者

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

上条当麻 in 涼宮ハルヒの憂鬱

### 【Nコード】

N9667Z

### 【作者名】

白銀の勇者

### 【あらすじ】

この小説はもしも上条当麻が涼宮ハルヒの憂鬱の世界に来てしまったという物語です。

作者の初めての小説ですが、温かい目で見ただけだと幸いです。

## はじめに(前書き)

今回は設定と大まかな作品の説明です

## はじめに

この小説は、  
もしも上条当麻が涼宮ハルヒの憂鬱の世界に、ハルヒの力でやって来てしまったらという話です。

何故上条が異世界に来てしまったかは、上条の幻想殺しで、相殺しきれずハルヒの力に負けて、異世界に来てしまった。という設定です。

ちなみに、上条がハルヒの世界に来た時期は、フィアンマを倒し海をさま迷っている途中です。

上条は、とあるの世界の記憶は無くなっています。

そして、上条の幻想殺しは健在ですか、上条は幻想殺しの事を全く知りません。

上条の立場は異世界人の設定です。

説明が長くなりましたが、本編をどうぞ。

## はじめに（後書き）

次回より、本編スタートです。

第1話 キヨンと上条の接触（前書き）

いきなり上条とキヨンが接触します。  
少し短いです。

## 第1話 キヨンと上条の接触

「キヨンside」

俺の名前は

（本名）あだ名はキヨンだ。

って、オイ！作者！何故本名を公開しない！？

くそ、いつか本名公開するからな！

俺は今、今年から入学する北高校に向かって歩いている。

しかし、なんでこんな山の上に学校があるんだよ。

まったく、朝からなんでこんな山に登らなくちゃいけないんだよ。

ま、何日か経ったら慣れるだろ。

「上条side」

俺の名前は上条当麻。

そこらへんにいるいたって平凡な中学…いや、今日から高校生か。

まあ、変わっている所っていったら人より不幸って所かな。

俺は今、今年入学する北高校に向かって歩いている。

しかし、なんなんだよこの坂は。

しかもかなり長いし…

まあ、何日か経ったらなれるだろう。

つてなんだ？

空き缶？つてヤバい踏んでしまう。

なんでこんな入学当日に〜 不幸だ〜

〜キョンスイデ〜

ん？なんだ？

いきなり前の人が見界から消えた？

空き缶で転んだのか。

素通りするのも後味悪いし、

「おい、あんた大丈夫か？」

「ん？ ああ、大丈夫だ。」

〜上条スイデ〜

なんか知らない人に声かけられて返事したど、いい人みたいだな。

「今度から足元には気を付けろよ。」

「ああ、そうするよ。」

「じゃあ、俺は先に行くからな。」

なんかあいつとは、気が合いそうだな。

今度会ったら声かけてみるか。

くキヨンスイデく

なんかあいつとは気が合いそうな気がするな。

まあいい、早くクラスがどこか調べて席に座っていよう。

## 第1話 キヨンと上条の接触（後書き）

今回は、ハルヒの登場。

まだ、SOS団結成には時間がかかりそうです

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9667z/>

---

上条当麻in涼宮ハルヒの憂鬱

2011年12月30日02時49分発行